

当金庫ディスクロージャー誌およびミニディスクロージャー誌の
一部訂正とお詫びについて

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、浜松信用金庫ディスクロージャー誌「はましんレポート 2010」「はましんレポート 2009」ならびにミニディスクロージャー誌「はましんダイジェスト 2010」につきまして、下記の通り一部記載に誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

なお、当金庫ホームページにて開示しております本資料につきましては訂正を反映しております。

◆訂正内容

1. 浜松信用金庫ディスクロージャー誌「はましんレポート 2010」

頁	項目	誤	正
7	浜松信用金庫と 地域社会 【今期の決算について】	(略) 単体自己資本比率は <u>15.15%</u> となりました。	(略) 単体自己資本比率は <u>14.95%</u> となりました。
14	はましんの現況 【平成21年度の業績】		
	純資産・自己資本比率	単体自己資本比率 (略) また、単体自己資本比率は <u>15.15%</u> と国内基準 (4%) を大幅に上回っております。 (略) 自己資本の額 (<u>100,447</u> 百万円) リスク・アセット等計 (662,708 百万円) = <u>15.15%</u>	単体自己資本比率 (略) また、単体自己資本比率は <u>14.95%</u> と国内基準 (4%) を大幅に上回っております。 (略) 自己資本の額 (<u>99,140</u> 百万円) リスク・アセット等計 (662,708 百万円) = <u>14.95%</u>
15	はましんの健全性について 【自己資本の充実の状況】	(略) はましんの単体自己資本比率は平成21年度も引き続き適正な内部留保をおこなった結果、 <u>15.15%</u> となりました。	(略) はましんの単体自己資本比率は平成21年度も引き続き適正な内部留保をおこなった結果、 <u>14.95%</u> となりました。
	【グラフ】	平成20年度 自己資本の額 <u>96,196</u> 百万円 単体自己資本比率 <u>14.43%</u> 平成21年度 自己資本の額 <u>100,447</u> 百万円 単体自己資本比率 <u>15.15%</u>	平成20年度 自己資本の額 <u>95,334</u> 百万円 単体自己資本比率 <u>14.30%</u> 平成21年度 自己資本の額 <u>99,140</u> 百万円 単体自己資本比率 <u>14.95%</u>

頁	項目	誤		正	
15	単体自己資本比率 (国内基準)【表】 (自己資本)	平成20年度 (H21.3.31)	平成21年度 (H22.3.31)	平成20年度 (H21.3.31)	平成21年度 (H22.3.31)
	(補完的項目) 一般貸倒引当金 (百万円)	<u>1,934</u>	<u>2,818</u>	<u>1,072</u>	<u>1,511</u>

	[補完的項目] (百万円) (B)	<u>1,934</u>	<u>2,818</u>	<u>1,072</u>	<u>1,511</u>
	自己資本総額 (百万円) [(A) + (B)] (C)	<u>96,234</u>	<u>100,475</u>	<u>95,372</u>	<u>99,168</u>
	自己資本額(百万円) [(C) - (D)] (E)	<u>96,196</u>	<u>100,447</u>	<u>95,334</u>	<u>99,140</u>
	単体自己資本比率 (%) (E) / (F)	<u>14.43</u>	<u>15.15</u>	<u>14.30</u>	<u>14.95</u>
15	(注記)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、単体自己資本比率は <u>13.97%</u> となります。(略)		2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、単体自己資本比率は <u>13.84%</u> となります。(略)	
17	不良債権の状況について 【不良債権の状況】	3 段落目 なお、(略) 自己資本に相当する純資産は1,020億77百万円、単体自己資本比率(国内基準)は <u>15.15%</u> と十分な水準を確保するなど不良債権に対する備えには万全な取組みをおこなっております。		3 段落目 なお、(略) 自己資本に相当する純資産は1,020億77百万円、単体自己資本比率(国内基準)は <u>14.95%</u> と十分な水準を確保するなど不良債権に対する備えには万全な取組みをおこなっております。	
39	最近5年間の主要な経営指標の推移	単体自己資本比率 (%) 平成20年度 <u>14.43</u> 平成21年度 <u>15.15</u>		単体自己資本比率 (%) 平成20年度 <u>14.30</u> 平成21年度 <u>14.95</u>	
	(注記)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、自己資本比率は <u>13.97%</u> となります。(略)		2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、自己資本比率は <u>13.84%</u> となります。(略)	
48	連結情報 【子会社等の状況】	説明文章 (略) 安定した資金運用、会員充実に努めるとともに、庫外流出をおさえることにより、連結自己資本比率は <u>15.31%</u> となっております。		説明文章 (略) 安定した資金運用、会員充実に努めるとともに、庫外流出をおさえることにより、連結自己資本比率は <u>15.11%</u> となっております。	

頁	項目	誤		正	
54	連結経営指標 連結自己資本比率 (国内基準)	平成20年度 (H21.3.31)	平成21年度 (H22.3.31)	平成20年度 (H21.3.31)	平成21年度 (H22.3.31)
	(自己資本)				
	(補完的項目) 一般貸倒引当金 (百万円)	<u>2,008</u>	<u>2,881</u>	<u>1,146</u>	<u>1,574</u>
	[補完的項目] 計 (百万円) (B)	<u>2,008</u>	<u>2,881</u>	<u>1,146</u>	<u>1,574</u>
	自己資本総額 (百万円) [(A) + (B)] (C)	<u>97,649</u>	<u>102,371</u>	<u>96,787</u>	<u>101,064</u>
	自己資本額(百万円) [(C) - (D)] (E)	<u>97,612</u>	<u>102,343</u>	<u>96,750</u>	<u>101,036</u>
	連結自己資本比率 (%) (E) / (F)	<u>14.48</u>	<u>15.31</u>	<u>14.35</u>	<u>15.11</u>
	(注記)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、連結自己資本比率は <u>14.02%</u> となります。(略)		2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、連結自己資本比率は <u>13.89%</u> となります。(略)	
55	主要な経営指標の推移	連結自己資本比率 (%) 平成20年度 <u>14.48</u> 平成21年度 <u>15.31</u>		連結自己資本比率 (%) 平成20年度 <u>14.35</u> 平成21年度 <u>15.11</u>	
	(注記)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、連結自己資本比率は <u>14.02%</u> とな		2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、連結自己資本比率は <u>13.89%</u> とな	

	ります。(略)	ります。(略)
--	---------	---------

頁	項目	誤	正
62	自己資本の充実の状況等について 定性的な開示事項 I. 単体における事業年度の開示事項		
	1. 自己資本調達手段の概要	2 段落目 平成 21 年度末の自己資本額のうち、過去の利益の積み上げによるもの以外のものは、基本的項目では地域のお客さまからお預かりしている出資金が該当し、補完的項目では一般貸倒引当金・偶発損失引当金が該当します。	2 段落目 平成 21 年度末の自己資本額のうち、過去の利益の積み上げによるもの以外のものは、基本的項目では地域のお客さまからお預かりしている出資金が該当し、補完的項目では一般貸倒引当金(削除)が該当します。
	2. 自己資本の充実に 関する評価 方法の概要	1 段落目 平成 21 年度における自己資本比率は 15.15%と、国内で業務をおこなう金融機関の基準である 4%を大幅に上回っており、はましの経営が健全かつ安全であることを示しております。(略) 2 段落目 さらに、自己資本額に占める基本的項目(Tier 1)の割合は 97.2%と当金庫の自己資本の大部分は毎期の安定利益の積み重ねにより形成されております。	1 段落目 平成 21 年度における自己資本比率は 14.95%と、国内で業務をおこなう金融機関の基準である 4%を大幅に上回っており、はましの経営が健全かつ安全であることを示しております。(略) 2 段落目 さらに、自己資本額に占める基本的項目(Tier 1)の割合は 98.5%と当金庫の自己資本の大部分は毎期の安定利益の積み重ねにより形成されております。
65	II. 連結における事業年度の開示事項		
	2. 自己資本調達手段の概要	2 段落目 平成 21 年度末の自己資本額のうち、過去の利益の積み上げによるもの以外のものは、基本的項目では地域のお客さまからお預かりしている出資金及び連結子法人等の少数株主持分(連結子法人等の利益剰余金のうち当金庫グループ以外の外部株主の持分)が該当し、補完的項目では一般貸倒引当金・偶発損失引当金が該当します。	2 段落目 平成 21 年度末の自己資本額のうち、過去の利益の積み上げによるもの以外のものは、基本的項目では地域のお客さまからお預かりしている出資金及び連結子法人等の少数株主持分(連結子法人等の利益剰余金のうち当金庫グループ以外の外部株主の持分)が該当し、補完的項目では一般貸倒引当金(削除)が該当します。
	3. 連結グループの 自己資本の充 実に関する評 価方法の概 要	1 段落目 平成 21 年度における連結自己資本比率は 15.31%と、国内で業務をおこなう金融機関の基準である 4%を大幅に上回っており、はましの経営が健全かつ安全であることを示しております。(略) 2 段落目 さらに、自己資本額に占める基本的項目(Tier 1)の割合は 97.2%と当金庫の自己資本の大部分は毎期の安定利益の積み重ねにより形成されております。	1 段落目 平成 21 年度における連結自己資本比率は 15.11%と、国内で業務をおこなう金融機関の基準である 4%を大幅に上回っており、はましの経営が健全かつ安全であることを示しております。(略) 2 段落目 さらに、自己資本額に占める基本的項目(Tier 1)の割合は 98.4%と当金庫の自己資本の大部分は毎期の安定利益の積み重ねにより形成されております。

頁	項目	誤	正
66	定量的な開示事項 I. 単体における事業年度の開示事項		
	(1) 自己資本の構成 に関する事項	平成 20 年度	平成 21 年度
	(自己資本)		
	(補完的項目) 一般貸倒引当金 (百万円)	1,934	2,818
	[補完的項目] (百万円)(B)	1,934	2,818
		平成 20 年度	平成 21 年度
		1,072	1,511
		1,072	1,511

	自己資本総額 (百万円) [(A) + (B)] (C)	96,234	100,475	95,372	99,168
	自己資本額 (百万円) [(C) - (D)] (E)	96,196	100,447	95,334	99,140
	単体自己資本比率 (%) (E) / (F)	14.43	15.15	14.30	14.95
66	(注記)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額 (3,072 百万円) を控除して計算した場合には、自己資本比率は <u>13.97%</u> となります。(略)		2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額 (3,072 百万円) を控除して計算した場合には、自己資本比率は <u>13.84%</u> となります。(略)	
67	(2) 自己資本の充実度に関する事項	単体自己資本比率 (%) 平成 20 年度 14.43 平成 21 年度 15.15		単体自己資本比率 (%) 平成 20 年度 14.30 平成 21 年度 14.95	
72	(8) 金利リスクに関する事項 2) アウトライヤー基準に基づく金利リスク	アウトライヤー比率 平成 20 年度 17.389% 平成 21 年度 19.459%		アウトライヤー比率 平成 20 年度 17.546% 平成 21 年度 19.715%	

頁	項目	誤		正	
73	II. 連結における事業年度の開示事項				
	(2) 自己資本の構成に関する事項	平成 20 年度 (H21.3.31)	平成 21 年度 (H22.3.31)	平成 20 年度 (H21.3.31)	平成 21 年度 (H22.3.31)
	(自己資本)				
	(補完的項目) 一般貸倒引当金 (百万円)	2,008	2,881	1,146	1,574
	[補完的項目] (百万円) (B)	2,008	2,881	1,146	1,574
	自己資本総額 (百万円) [(A) + (B)] (C)	97,649	102,371	96,787	101,064
	自己資本額 (百万円) [(C) - (D)] (E)	97,612	102,343	96,750	101,036
	連結自己資本比率 (%) (E) / (F)	14.48	15.31	14.35	15.11
73	(注記)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額 (3,072 百万円) を控除して計算した場合には、連結自己資本比率は <u>14.02%</u> となります。(略)		2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額 (3,072 百万円) を控除して計算した場合には、連結自己資本比率は <u>13.89%</u> となります。(略)	
74	(3) 自己資本の充実度に関する事項	連結自己資本比率 (%) 平成 20 年度 14.48 平成 21 年度 15.31		連結自己資本比率 (%) 平成 20 年度 14.35 平成 21 年度 15.11	

2. 浜松信用金庫ディスクロージャー誌「はましんレポート 2009」

頁	項目	誤	正
3	浜松信用金庫と地域社会との関わり 【今期の決算について】	(略) 自己資本比率は <u>14.43%</u> となりました。	(略) 自己資本比率は <u>14.30%</u> となりました。
10	はましんの現況 【20年度の業績】		
	純資産・自己資本比率	単体自己資本比率 (略) また、単体自己資本比率は <u>14.43%</u> と国内基準(4%)を大幅に上回っております。 (略) 自己資本の額 (96,196 百万円) _____ = <u>14.43%</u> リスク・アセット等計 (666,237 百万円)	単体自己資本比率 (略) また、単体自己資本比率は <u>14.30%</u> と国内基準(4%)を大幅に上回っております。 (略) 自己資本の額 (95,334 百万円) _____ = <u>14.30%</u> リスク・アセット等計 (666,237 百万円)
11	はましんの健全性について 【自己資本の充実の状況】	(略) はましんの単体自己資本比率は平成20年度も引き続き適正な内部留保をおこなった結果、 <u>14.43%</u> となりました。	(略) はましんの単体自己資本比率は平成20年度も引き続き適正な内部留保をおこなった結果、 <u>14.30%</u> となりました。
	【グラフ】	平成20年度 自己資本の額 <u>96,196</u> 百万円 自己資本比率 <u>14.43%</u>	平成20年度 自己資本の額 <u>95,334</u> 百万円 自己資本比率 <u>14.30%</u>

頁	項目	誤	正
11	単体自己資本比率 (国内基準)【表】	平成20年度 (H21.3.31)	平成20年度 (H21.3.31)
	(自己資本)		
	(補完的項目) 一般貸倒引当金(百万円)	<u>1,934</u>	<u>1,072</u>
	[補完的項目] (百万円)(B)	<u>1,934</u>	<u>1,072</u>
	自己資本総額 (百万円) [(A) + (B)] (C)	<u>96,234</u>	<u>95,372</u>
	自己資本額 (百万円) [(C) - (D)] (E)	<u>96,196</u>	<u>95,334</u>
	単体自己資本比率(%) (E) / (F)	<u>14.43</u>	<u>14.30</u>
	(注記)	2. (略) なお、「 <u>その他有価証券の評価差損</u> 」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、単体自己資本比率は <u>13.97%</u> となります。(略) 3. 平成20年度については、「 <u>一般貸倒引当金</u> 」に偶発損失引当金の額(862百万円)を含めて計上しております。	2. (略) なお、「 <u>その他有価証券の評価差損</u> 」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、単体自己資本比率は <u>13.84%</u> となります。(略) (削除)
13	不良債権の状況について 【不良債権の状況】	3段落目 なお、(略) 自己資本に相当する純資産は912億94百万円、単体自己資本比率(国内基準) <u>14.43%</u> と十分な水準を確保するなど不良債権に対する備えには万全な取組みをおこなっております。	3段落目 なお、(略) 自己資本に相当する純資産は912億94百万円、単体自己資本比率(国内基準) <u>14.30%</u> と十分な水準を確保するなど不良債権に対する備えには万全な取組みをおこなっております。

35	最近5年間の主要な経営指標の推移	単体自己資本比率(%) 平成20年度 <u>14.43</u>	単体自己資本比率(%) 平成20年度 <u>14.30</u>
	(注記)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、単体自己資本比率は <u>13.97%</u> となります。	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、単体自己資本比率は <u>13.84%</u> となります。
44	連結情報 【子会社等の状況】	説明文章 (略) 安定した資金運用、会員充実に努めるとともに、庫外流出をおさえることにより、連結自己資本比率は <u>14.48%</u> となっております。	説明文章 (略) 安定した資金運用、会員充実に努めるとともに、庫外流出をおさえることにより、連結自己資本比率は <u>14.35%</u> となっております。

頁	項目	誤	正
49	連結経営指標 連結自己資本比率 (国内基準)	平成20年度 (H21.3.31)	平成20年度 (H21.3.31)
	(自己資本)		
	(補完的項目) 一般貸倒引当金 (百万円)	<u>2,008</u>	<u>1,146</u>
	[補完的項目]計 (百万円)(B)	<u>2,008</u>	<u>1,146</u>
	自己資本総額 (百万円) [(A) + (B)] (C)	<u>97,649</u>	<u>96,787</u>
	自己資本額(百万円) [(C) - (D)] (E)	<u>97,612</u>	<u>96,750</u>
	連結自己資本比率(%) (E) / (F)	<u>14.48</u>	<u>14.35</u>
(注記)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、連結自己資本比率は <u>14.02%</u> となります。	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には連結自己資本比率は <u>13.89%</u> となります。	
	3. 平成20年度については、「一般貸倒引当金」に偶発損失引当金の額(862百万円)を含めて計上しております。	(削除)	
50	連結経営指標 主要な経営指標の推移	連結自己資本比率(%) 平成20年度 <u>14.48</u>	連結自己資本比率(%) 平成20年度 <u>14.35</u>
	(注記)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、連結自己資本比率は <u>14.02%</u> となります。(略)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(30億72百万円)を控除して計算した場合には、連結自己資本比率は <u>13.89%</u> となります。(略)

頁	項目	誤	正
56	自己資本の充実の状況等について 定性的な開示事項 I. 単体における事業年度の開示事項		
	1. 自己資本調達手段の概要	2 段落目 平成20年度末の自己資本額のうち、過去の利益の積み上げによるもの以外のものは、基本的項目では地域のお客さまからお預かりしている出資金が該当し、補完的項目では一般貸倒引当金・偶発損失引当金が該当します。	2 段落目 平成20年度末の自己資本額のうち、過去の利益の積み上げによるもの以外のものは、基本的項目では地域のお客さまからお預かりしている出資金が該当し、補完的項目では一般貸倒引当金(削除)が該当します。

	2. 自己資本の充実度に関する評価方法の概要	1 段落目 平成 20 年度における自己資本比率は <u>14.43%</u> と、国内で業務をおこなう金融機関の基準である 4%を大幅に上回っており、はましの経営が健全かつ安全であることを示しております。(略)	1 段落目 平成 20 年度における自己資本比率は <u>14.30%</u> と、国内で業務をおこなう金融機関の基準である 4%を大幅に上回っており、はましの経営が健全かつ安全であることを示しております。(略)
		2 段落目 さらに、自己資本額に占める基本的項目 (Tier 1) の割合は <u>98.0%</u> と当金庫の自己資本の大部分は毎期の安定利益の積み重ねにより形成されております。	2 段落目 さらに、自己資本額に占める基本的項目 (Tier 1) の割合は <u>98.9%</u> と当金庫の自己資本の大部分は毎期の安定利益の積み重ねにより形成されております。
59	II. 連結における事業年度の開示事項		
	2. 自己資本調達手段の概要	2 段落目 平成 20 年度末の自己資本額のうち、過去の利益の積み上げによるもの以外のものは、基本的項目では地域のお客さまからお預かりしている出資金及び連結子法人等の少数株主持分 (連結子法人等の利益剰余金のうち当金庫グループ以外の外部株主の持分) が該当し、補完的項目では一般貸倒引当金・偶発損失引当金が該当します。	2 段落目 平成 20 年度末の自己資本額のうち、過去の利益の積み上げによるもの以外のものは、基本的項目では地域のお客さまからお預かりしている出資金及び連結子法人等の少数株主持分 (連結子法人等の利益剰余金のうち当金庫グループ以外の外部株主の持分) が該当し、補完的項目では一般貸倒引当金 (削除) が該当します。
	3. 連結グループの自己資本の充実度に関する評価方法の概要	1 段落目 平成 20 年度における連結自己資本比率は <u>14.48%</u> と、国内で業務をおこなう金融機関の基準である 4%を大幅に上回っており、はましの経営が健全かつ安全であることを示しております。(略)	1 段落目 平成 20 年度における連結自己資本比率は <u>14.35%</u> と、国内で業務をおこなう金融機関の基準である 4%を大幅に上回っており、はましの経営が健全かつ安全であることを示しております。(略)
		2 段落目 さらに、自己資本額に占める基本的項目 (Tier 1) の割合は <u>97.9%</u> と当金庫の自己資本の大部分は毎期の安定利益の積み重ねにより形成されております。	2 段落目 さらに、自己資本額に占める基本的項目 (Tier 1) の割合は <u>98.8%</u> と当金庫の自己資本の大部分は毎期の安定利益の積み重ねにより形成されております。

頁	項目	誤	正
60	定量的な開示事項 I. 単体における事業年度の開示事項		
	(1) 自己資本の構成に関する事項	平成 20 年度	平成 20 年度
	(自己資本)		
	(補完的項目) 一般貸倒引当金 (百万円)	<u>1,934</u>	<u>1,072</u>
	[補完的項目] (百万円) (B)	<u>1,934</u>	<u>1,072</u>
	自己資本総額 (百万円) [(A) + (B)] (C)	<u>96,234</u>	<u>95,372</u>
	自己資本額 (百万円) [(C) - (D)] (E)	<u>96,196</u>	<u>95,334</u>
	単体自己資本比率 (%) (E) / (F)	<u>14.43</u>	<u>14.30</u>
60	(注記)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(3,072 百万円)を控除して計算した場合には、自己資本比率は <u>13.97%</u> となります。	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額(3,072 百万円)を控除して計算した場合には、自己資本比率は <u>13.84%</u> となります。
		3. 平成 20 年度については、「一般貸倒引当金」に偶発損失引当金の額(862 百万円)を	(削除)

		含めて計上しております。	
6 1	(2) 自己資本の充実度に関する事項	単体自己資本比率 (%) 平成 20 年度 <u>14.43</u>	単体自己資本比率 (%) 平成 20 年度 <u>14.30</u>
6 5	(8) 金利リスクに関する事項 2) アウトライヤー基準に基づく金利リスク	アウトライヤー比率 平成 20 年度 <u>17.389%</u>	アウトライヤー比率 平成 20 年度 <u>17.546%</u>

頁	項目	誤	正
6 6	II. 連結における事業年度の開示事項		
	(2) 自己資本の構成に関する事項	平成 20 年度	平成 20 年度
	(自己資本)		
	(補完的項目) 一般貸倒引当金 (百万円)	2,008	1,146
	[補完的項目] (百万円) (B)	2,008	1,146
	自己資本総額 (百万円) [(A) + (B)] (C)	97,649	96,787
	自己資本額 (百万円) [(C) - (D)] (E)	97,612	96,750
	連結自己資本比率 (%) (E) / (F)	14.48	14.35
	(注記)	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額 (3,072 百万円) を控除して計算した場合には、自己資本比率は 14.02% となります。 3. 平成 20 年度については、「一般貸倒引当金」に偶発損失引当金の額 (862 百万円) を含めて計上しております。	2. (略) なお、「その他有価証券の評価差損」の額 (3,072 百万円) を控除して計算した場合には、自己資本比率は 13.89% となります。 (削除)
6 7	(3) 自己資本の充実度に関する事項	連結自己資本比率 (%) 平成 20 年度 <u>14.48</u>	連結自己資本比率 (%) 平成 20 年度 <u>14.35</u>

3. 浜松信用金庫ミニディスクロージャー誌「はましんダイジェスト 2010」

頁	項目	誤	正
5	見出し	はましんは、国内基準（4%）を大きく上回る単体自己資本比率 <u>15.15%</u> 健全経営の証です。	はましんは、国内基準（4%）を大きく上回る単体自己資本比率 <u>14.95%</u> 健全経営の証です。
	説明文章	はましんの単体自己資本比率は平成 22 年 3 月末 <u>15.15%</u> と国内で業務を営む金融機関の基準（国内基準）の 4%を大幅に上回り、健全経営の証となっています。（略）	はましんの単体自己資本比率は平成 22 年 3 月末 <u>14.95%</u> と国内で業務を営む金融機関の基準（国内基準）の 4%を大幅に上回り、健全経営の証となっています。（略）
	【グラフ】	平成 20 年度 自己資本の額 <u>96,196</u> 百万円 自己資本比率 <u>14.43%</u> 平成 21 年度 自己資本の額 <u>100,447</u> 百万円 自己資本比率 <u>15.15%</u>	平成 20 年度 自己資本の額 <u>95,334</u> 百万円 自己資本比率 <u>14.30%</u> 平成 21 年度 自己資本の額 <u>99,140</u> 百万円 自己資本比率 <u>14.95%</u>
	(注記)	※（略）なお、「その他有価証券の評価差損」の額（30 億 72 百万円）を控除して計算した場合には、単体自己資本比率は <u>13.97%</u> となります。（略）	※（略）なお、「その他有価証券の評価差損」の額（30 億 72 百万円）を控除して計算した場合には、単体自己資本比率は <u>13.84%</u> となります。（略）

以 上